

# 「白神ねぎ」3年連続10億円販売達成大会



◀さらなる生産拡大を誓った3年連続10億円販売達成大会

## 『白神ねぎ』3年連続10億円販売達成

ねぎ部会

『白神ねぎ』の3年連続10億円販売達成大会と実績検討会が1月23日に能代市のプラザ都で開かれ、10億円産地の確立を祝うとともにさらなる生産拡大、ブランド力の向上に努めることを誓い合いました。

大会には、生産者やJA、行政の関係者ら約140人が出席。大塚和浩部会長は「3年連続で販売額10億円を突破でき、東北でも有数のネギ産地となったが、この結果におこることなく一層の品質向上と数量を確保できるよう尽力していきたい」、佐藤組合長は3年連続の達成で「白神ねぎ」への信頼と期待が今後ますます大きくなることなどに

触れ「天候に大きく左右された厳しい栽培環境の中においても、生産者の高い栽培技術による高品質出荷が実現された。引き続き安全・安心な「白神ねぎ」の生産拡大を図り、消費者に選ばれる商品作りを心掛け、農家所得の向上につなげていきたい」とあいさつしました。

1月末実績は、出荷量3751t、販売額13億9798万円、単価373円となっています。天候不順の影響で他産地の収量減などが要因とされ、4～1月までの1kg当たりの単価は300円を超える高値で推移しました。

## 出荷規格の統一を確認

アスパラガス部会

アスパラガス部会（大塚剛志部会長）は、促成アスパラガスの出荷に向けて、規格等を確認する目揃会を開きました。

目揃会には生産者やJA、市場関係者ら約15名が参加。大塚部会長が「雨や雪の影響で掘り取りに苦労したと思う。今後は、ハウス内での管理となるが、温度管理を徹底して良質なアスパラガスを出荷していこう」とあいさつ。その後、市場情勢等が報告され、横浜丸中青果の担当者は「年々他県産が減少している中で、白神産は安定して出荷されている。アスパラガスの需要は拡大しているので、単価を崩さないよう販売していきたい。」と白神産アスパラガスの出荷を待ち望んでいました。



▲規格を統一し有利販売を目指す



▲規格を確認する生産者

## 出荷本番を迎え目揃会を開催

山うど部会

山うど部会（桜田和浩部会長）は1月12日、平成29年度山うど出荷目揃会を開き、出荷本番を迎える山うどの規格等を確認しました。

目揃会には生産者やJA、市場関係者ら約30人が参加。桜田部会長は「長雨の影響で掘り取り作業が遅れる厳しい環境だったが、昨年並みの出荷は維持できるのでは。この目揃会で出荷規格を再確認し、多くの出荷をして所得を確保してもらいたい」とあいさつ。その後、市場情勢報告やJA担当者からの今後の栽培の注意点や出荷規格の確認が行われました。今年度は1億1583万円の販売額を見込んでいます。

